

# くらす

a classy life in the town

第17号

No.17 Autumn 2013/10

季節と共に生きていく、  
和の優しさを感じるすまい。



# 「初夏には蛍も部屋に訪れます」

横須賀市岩戸 H様邸 (築約14年)



広い離れと母屋からなるH様邸は、築14年の木造和風住宅。母屋の外観は平屋のように見えますが、実は2階建てで3世代がお住まいです。

H様は「家を建てるときに、木造住宅であること、離れにつながる渡り廊下をつけること、そして床暖房にすることを条件として注文し、他は建築士の方にお任せしました。おかげで建付けにほとんど狂いもなく、少々の地震では揺れを全く感じません」と耐震にも満足されています。

四季折々に草花を咲かせる日本庭園が家を囲み、花や実のなる樹木がある裏庭の横を蛍の生息する川が流れるなど、自然に満ちたH様邸。家のどこからでも美しい景色を眺められるよう1階の各部屋には大きなガラス窓。内側に陽射しを和らげる障子を使っています。

吹き抜けのリビングの高い天井は、紀州材を梁に使った勾配天井で、木組みをそのまま見せています。建築士の提案で



## Check! 齋藤工務店

齋藤工務店の手がける住まいには、木材がふんだんに使われています。木の事を知ることは、家づくりの第一歩。さあ、一緒にチェックしてみましょう!

みなさんの生活の中で「木」は身近なものでですか? 多くの方は日常生活の中で何らかの形で木と接しているかと思います。そして小さい頃に聞いた木に関する「常識」が、私たちの一般常識と少し違った形で認識されていることが多くあるかと思います。

そこで今回は2つほど例を挙げてみますので再確認してみましょう。

### 公園や森にある木の幹に耳をつけると樹液が流れる音が聞こえる

これは…違いますね。樹液の流れる速度は、杉で時速20cm程度。分速だと0.33cm。この速度では聞こえないですね。では、木に耳をつけた時に聞こえるあの音は为什么呢か。

それは、木材の音の伝達速度は空気の10倍あり、何かの音が木に伝わり樹液の流れる音に聞こえるのかもしれませんが。

### 木の年輪は南側が広い



これも…違いますね。小さい頃に「山や森で迷った時には、切り株を見て方角を…」なんて教えられた記憶はありませんか? あれは間違った知識なんです。木の年輪は、葉の光合成で作られた糖分が螺旋状や扇状に拡散しながら降りてくるので、南側に偏るわけではありません。

とても身近なことだからこそ、常識だと思っていたことが本当は違っていた、なんてことは「木」に関してだけでなく世の中には多くありますよね。

くれぐれも山や森で迷った時に、切り株を見て方角を決めないようご注意ください!



取り付けた和紙を張った照明や、娘さんが選んだ年代物の飾り棚など、和のインテリアが太い無垢の木の重厚感と調和して居心地の良い空間を演出しています。

「建てたばかりの頃は白木だった室内の木の色が年数を経て色に変化していったそう味わい深くなりました。木造は飽きがこないですね。趣味の畑仕事の後、ソファに腰掛けて庭を眺めるひとときが落ち着きます」と、リビングはご主人のお気に入りの場所。さらに「台所はリビングと表裏のように隣接していますがリビング側は下半分が収納・上半分が絵を飾るスペースの作り付けの間仕切り家具、台所側は、作り付けの食器棚になっているのでお客様がいらしてもプライベートな空間を保つ事ができます。ドアが無いので行き来もスムーズですし、台所が各部屋の中心にあり、移動するのにとても便利で気に入っています」と笑顔で話される奥様。

たっぷり収納できる作り付けの収納が各部屋に備えられているので家具を置かずにすむほか、木が持つ香りや触感、見た目の美しさなど自然素材は癒しの魅力を持っています。質の高い木の家で変化に富んだ自然を感じながら過ごす、極上の暮らしが営まれています。

(取材・撮影…2013年8月)



A: 裏手の竹林まで見渡せる玄関ホール  
B: 和室には一枚板の大きな座卓が鎮座します  
C: 極太の梁が、無骨さと繊細さを醸し出します  
D: 障子越しの光で柔らかな印象のお部屋に  
E: アンティークの家具が日本家屋にマッチします  
F: 二面の窓が光を呼ぶ、眺めのよいリビング  
G: 和モダンの魅力あふれるH様邸  
H: 玄関までは木々の緑が出迎えてくれます



木のぬくもりを体感できるリビングで、夕方のひとときを。もちろんバスルームもお使いいただけますので、入浴もこの機会にぜひお試しください。



調理器具や食器類もそろっています。お食事は食材や調味料をお持ちいただきクッキング。キッチンの使い心地やダイニングでの団らんを体験してください。



杉崎 弊社では「服は試着、車は試乗するのだから、家も宿泊してみよう」のコンセプトのもと、この体感型住宅展示場をオープンいたしました。わずか一晩でも、郷の家のすばらしさはきっと感じていただけたと思います。ぜひ「郷の家 体験宿泊」をご利用ください。



冬季は17時、夏季は18時にチェックイン。翌朝9時まで、ご自宅のようにお過ごしください。

くらす  
なかも

会報誌「くらす」を発行している株式会社齋藤工務店。今回の「くらすなかも」は、郷の家 体験宿泊の様子を再現。パートナーズレディの杉崎がお伝えいたします。



子供はみんな遊びの天才。無垢材の床だから、靴下なんか脱いで裸足で飛び跳ねよう。さらに階上には秘密基地みたいなロフトもあります。



ベッドは大人用2台、子供用2台を2階にご用意しています。木の香りに包まれながらお休みください。朝の目覚めもきっと爽やかですよ。

「郷の家 体験宿泊」のご予約・お問い合わせは **Tel.046-852-3333** までお気軽にどうぞ。



株式会社 齋藤工務店

〒238-0034 神奈川県横須賀市金谷2-2-1 TEL.046-852-3333(代) FAX.046-851-0034  
URL [www.saitou-koumuten.com](http://www.saitou-koumuten.com) Mail [info@saitou-koumuten.com](mailto:info@saitou-koumuten.com)

タイトルの「くらす」は、生活するという意味であり、横須賀を中心とするエリアに暮らす人々がひとつにまとまるという意味を含めた、英語のClassの意味でもあります。またClassには上品という意味があり、この会報誌もその意味にふさわしいものでありたいと願う気持ちを込めています。



くらす a classy life in the town 第17号

発行日：2013年10月1日

発行：株式会社齋藤工務店

編集：株式会社はまかせ新聞社

デザイン：合資会社アイザックエレメント

撮影：藤江司人 (Isaac Element & Co.)